

Doc.No: NR000203_2

2000年2月3日

PDF1.3に対応した新世代ソフトウェアRIP
「FlashRIP-AD Windows NT版」を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田明)とAdobe Systems Incorporated(米国:アドビシステムズ社)は、PDF1.3に対応したPostScript3ソフトウェアRIP「FlashRIP-AD Windows NT版」を2000年2月末に大日本スクリーンが発売することを共同発表しました。なお、この製品は、「Page2000」展および「Seybold Boston」展に出品します。

当社は、パイオニアOEMベンダーとして、Adobe Systems社が新しく開発した、CPS Iに代わる次世代RIP技術「Adobe PostScript 3™テクノロジー-APSD (Adobe Printing System Delivery)」を採用し、Adobe Systems社と共同で「FlashRIP-AD Windows NT版」を開発し、製品化しました。

このRIPは、スムーズシェーディング機能、イデオムレコグニション機能やスプール機能などにより優れた品質と高速なRIP処理を実現。また、今業界で注目を浴びているPDF1.3に対応し、Adobe® Acrobat®4.0で日本語フォントをエンベットしたPDFをダイレクトに処理。さらにインターネットなどを経由した入稿ファイルでも出力できます。Windows NT上で動作しますので、Macintosh DTPはもとより、Windows DTPにも親和性を発揮し、ネットワーク接続された別のホストからでもアクセスできます。

特長

1. CPSIに代わる最新Adobe PostScript 3テクノロジー-APSDを採用し、マルチキュー・スプール機能で出力中でもジョブを受け取り、フロントエンド側の解放時間を短縮
2. PostScript 3、日本語PDF1.3をサポート
3. 日本語リモートGUIクライアントでネットワークを介して、処理の設定や状況の確認が可能
4. Mac OSとWindowsネットワーク環境の両方からNT共有プリンタとホットフォルダーにアクセス可能
5. 12ビット階調の高品質な「AlphaLogicスクリーン」を新たに追加搭載。グラデーション品質をさらに向上
6. 日本語CIDフォントを搭載、文字の処理速度が向上
7. In-RIPセパレーション、TIFFファイル出力、プレビューなどの便利な機能を装備。また、Adobe In-RIPトラッピング機能も選択付属品として準備予定(開発中)
8. 対応レコーダーはGenasett 5055F/5040F(SCSI接続)、Genasett 5120(F-PIF接続)。対応レコーダーは順次追加する予定

< 販売価格(消費税別) >

「FlashRIP-AD Windows NT版」 AD-710NT SCSI 7書体340万円
AD-710NT SCSI 10書体450万円

< 年間販売予定台数 > 400台

< 販売開始時期 > 2000年2月末

お客様からの製品についてのお問い合わせ先

グラフィックアーツ事業本部マーケティング部宣伝課:Tel 075-414-7613

* Adobe、Adobe Acrobat、PostScript 3は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。文中のその他の商品名は各社の商標・登録商標です。